

第29章 地域編⑤：北部

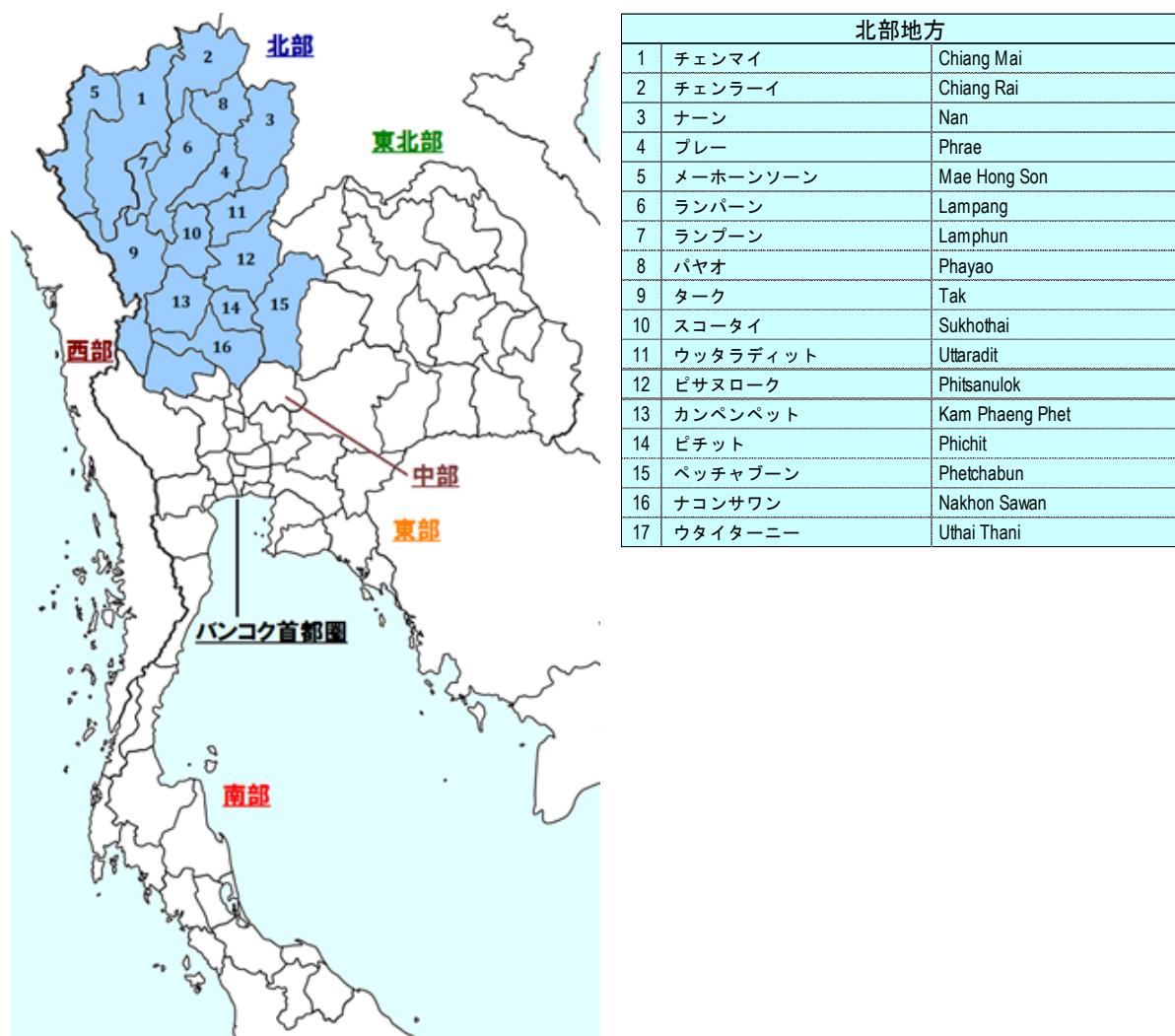
1. 地域概要

(1) 概要

① 北部地方のタイにおける経済的地位

17県で構成される北部は、人口1,117万人、名目GDPは1兆3,909億バーツである（いずれも2023年）。経済の中心はチェンマイ県であるが、工業団地はチェンマイ県のすぐ南に位置するランプーン県に集中している。

図表 29-1 タイ北部地方の位置



図表 29-2 北部地方概要

No	県名	(英語名)	名目GDP [2023年] (100万バーツ)	人口 [2023年] (1,000人)	1人あたりGDP [2023年] (バーツ)
	北部地方	Northern	1,390,863	11,168	124,545
1	チェンマイ	Chiang Mai	277,477	1,791	154,925
16	ナコンサワン	Nakhon Sawan	124,649	896	139,184
13	カンペーンペット	Kam Phaeng Phet	121,156	780	155,404
2	チェンラーイ	Chiang Rai	116,580	1,132	102,988
12	ピサヌローク	Phitsanulok	111,463	893	124,884
7	ランプーン	Lamphun	91,541	387	236,619
15	ペッチャブーン	Phetchabun	90,467	896	100,936
6	ランパン	Lampang	74,064	687	107,732
9	ターカー	Tak	65,223	537	121,537
10	スコータイ	Sukhothai	56,287	604	93,208
14	ピチット	Phichit	52,564	500	105,054
11	ウッタラディット	Uttaradit	47,996	398	120,720
8	パヤオ	Phayao	38,953	356	109,275
3	ナーン	Nan	38,938	435	89,515
17	ウタイターニー	Uthai Thani	33,381	269	123,946
4	プレー	Phrae	33,088	362	91,324
5	メーホーンソーン	Mae Hong Son	17,036	244	69,828

(出所) National Economic and Social Development Board より作成

②工業団地・日系企業進出動向

北部地方の工業団地は、ランプーン県に3カ所、ピチット県に1カ所ある。日本企業は、このうちのランプーン県の工業団地に多く進出している。

また、2023年2月にはランプーン県におけるタイ工業団地公社による工業団地開発をタイ政府が承認しており、特に日系企業の投資誘致を目指すとされている。

(2) 進出日系企業からみた事業・生活環境やコスト

①インフラ・物流

【道路】

チェンマイ中心部からランプーン県の工業団地までの道路は複数車線であり、基本的に道路インフラ上の不都合はない。渋滞問題が徐々に深刻化しているといわれているが、ビジネスを行うにあたって特段の問題が生じるレベルではない。バンコクまでは約700kmの距離があるが、コンテナ貨物をバンコク港から出荷（入荷）する企業も少なくない。ただし、道中のランパン県、ランプーン県とピサヌローク県の間が険しい山道であり、事故が発生しやすいようである。

【空港・港湾】

チェンマイ中心部から南西方向約4kmの地点にチェンマイ国際空港がある。空港運営会社であるタイ空港公社はチェンマイ空港を含む主要6空港のデータを公表しており、それによると、チェンマイ空港における発着回数は2022年39,027回、2023年55,663回、乗降客数は2022年5,457,661、2023年8,221,941人であり、新型コロナウイルス感染症の影響から大幅に回復している。また、取扱貨物量は2022年5,584トン、2023年5,255トンと推移しており、その9割前後が国内貨物である。北部では軽量な電子部品等の集積が進んでおり、空路での輸送が使われることも多い。

【電力】

日本企業が進出しているランプーン県の工業団地では停電はほとんどない。ただし、電圧は不安定で変動幅が大きいとの指摘もある。

【通信】

通信では大きな問題はない。

②労働事情

【人材】

スタッフやマネージャーの場合、優秀な人材はバンコクに流出する傾向が強く、採用が難しい。チェンマイには国立大学のチェンマイ大学があり人材が輩出しているが、卒業生はバンコクに向かうことが多いようである。

【賃金】

2025年1月の最低賃金（日額）が改定されている。

図表 29-3 北部地方の県別最低賃金（2025年1月）

県名	最低賃金 (バーツ)
チェンマイ（ムアンチェンマイ郡）	380
チェンマイ（ムアンチェンマイ郡以外）	357
チェンラーイ、ピサヌローク、ターカー	352
ナコンサワン、ランプーン	350
ペッチャブーン	349
カンペーンペット、ランパーン、スコータイ、ピチット、ウッタラディット、ウタイターニー、メーホンソーン	347
ナーン、パヤオ、プレー	345

（出所）JETRO 資料より作成

③生活環境

【気候】

チェンマイの月平均気温（平年値）はバンコク同様、4月が最も暑く、1月が最も涼しい。日本の気象庁のデータ（2024年）によると、チェンマイにおける月平均気温（平年値）は最高値が4月の平年値は29.6°C、最低値が1月の22.3°Cである。降水量は、バンコク同様に5月から10月にかけて多いが、雨季のピークは8月と9月である。

【教育】

チェンマイに日本人学校はないが、チェンマイ市及びその周辺に在住する日本人子女を主たる対象に、日本の文部科学省が示す学習指導要領に準拠した初等、中等教育の補習を行うことを目的とするチェンマイ日本人会チェンマイ日本人補習授業校がある。

【医療】

外務省は、「世界の医療事情」のタイの情報として、チェンマイ県、チェンラーイ県、ピサヌローク県、スコータイ県にある医療機関を紹介している。チェンマイには日本人通訳のいる病院もある。詳細は下記ウェブサイトを参照。

外務省ウェブサイト：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/asia/thailand.html>

【治安】

チェンマイは観光都市であり、街中の治安は良いといわれている。

【住居】

工業団地で操業する日本企業の駐在員は、チェンマイに居住するケースがほとんどである。また、リタイア後のロングステイで滞在する日本人も多く、サービスアパートやロングステイ者用の住居も多く提供されている。

【日本食・スーパーマーケット（小売）等】

大型ショッピングセンターには寿司やラーメン、牛丼等和食レストランが営業しており、スーパーでは日本食材の調達が可能である。また、チェンマイを拠点とする地場の「リンピング・スーパーマーケット（Rimping Supermarket）」では、海外から輸入した加工食品が多く取り扱われている。また、自社規準に基づき「有機野菜」、「水耕野菜」等に商品を分類し、それぞれのパッケージに緑色、水色、白色、黄色、赤色のマークを付けて、店内に説明用のポップを配置する等して、消費者の嗜好に合う商品を選択できるよう工夫している店舗もある。



リンピング・スーパーマーケット



※店内には日本語の説明も

2. 主要工業団地

No.	工業団地名	所在地	産業エリア 総面積
1	World Lamphun Industrial Estate	Km.70 Chiang MaiLam Phang Rd., Makhuea Chae, Muang, Lam Phun 51000	49ha
2	Northern Region Industrial Estate	60 Moo 4, Banklang, Muang, Lamphun 51000	185ha
3	Saha Group Industrial Park Lamphun	189 Moo 15 Pasak, Muang, Lam Phun 51000	368ha
4	Phichit Industrial Estate	79 Moo 1, Phitsanulok-Nakhon Sawan Road Km. 97-99 Nong Lum, Wachirabarami, Phichit 66220	198ha

(出所) BOI より作成